

Ⅲ

基本計画

施策体系図

重点プロジェクト

分野別ビジョン みんなとつながる共生のまち

分野別ビジョン 誰もが自分らしく生きるまち

分野別ビジョン 健康で元気な笑顔があふれるまち

分野別ビジョン 安心して便利に暮らせるまち

分野別ビジョン 豊かで持続可能な産業があるまち

分野別ビジョン 緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち



施策体系図

基本構想

将来像

基本理念

分野別ビジョン

共に創ろうひと・まち・みどりがつながる
ウェルビーイング
幸せのまち

共創の
まちづくり

みんなとつながる
共生のまち

誰もが自分らしく
生きるまち

健康で元気な笑顔が
あふれるまち

持続可能な
まちづくり

安心して便利に
暮らせるまち

魅力と特性
を活かす
まちづくり

豊かで持続可能な
産業があるまち

緑と文化のなかで
こころ豊かに
暮らせるまち



基本計画

政策

- 政策1 共創のまちづくり
- 政策2 共生のまちづくり
- 政策3 未来を切り拓く力の育成
- 政策4 地域まるごと学びの創出
- 政策5 芸術文化・スポーツのまちづくり
- 政策6 安心して子育てできる環境づくり
- 政策7 健康長寿社会の実現
- 政策8 人にやさしい福祉のまちづくり
- 政策9 持続可能で快適に暮らせるまちづくり
- 政策10 安全で安心して暮らせるまちづくり
- 政策11 人と行政が情報でつながる便利なまち
- 政策12 地域の魅力が輝くまち
- 政策13 安定的で持続可能な行財政運営
- 政策14 暮らしを支える上下水道
- 政策15 活力あふれる商工業
- 政策16 地域の特色を活かした農業の活性化
- 政策17 訪れる人が笑顔になる観光振興の推進
- 政策18 次世代につなぐ歴史・芸術文化のまちづくり
- 政策19 暮らしやすく持続可能な環境基盤づくり
- 政策20 未来につなぐ自然環境の維持

重点プロジェクト

「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト
子どもの幸せプロジェクト
誰一人取り残さない元気応援プロジェクト
行財政基盤強化プロジェクト

I はじめに

II 基本構想

III 基本計画

IV 資料編



重点プロジェクト

計画期間における町の将来像を実現するために、特に重点的に取り組む課題に対して「重点プロジェクト」を設定し、施策間の連携を図りながら、取り組めます。

1

「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト



町は、豊かな武蔵野の平地林に囲まれた田園風景と都市に近い立地や機能を活かしながら発展してきました。令和5年(2023)3月に策定した「みよしフォレストシティ構想」では、人々が安心して暮らし、ともに支えあい、いきがいと誇りをもち、輝くことのできる農と緑の田園都市の実現をめざします。

1-1
緑の
ネットワーク
プロジェクト

1-2
アグリ※
プロジェクト

1-3
スーパー・
シティ※
プロジェクト

関連する施策

9-1 「コンパクトでやすらぎのある都市づくりの推進」

9-3 「交通環境の充実」

15-1 「立地や特性を活かした産業振興」

16-1 「伝統農法の保全・継承」

16-2 「都市近郊農業の推進」

17-1 「観光資源のブランディング※」

20-1 「緑とふれあう環境・人づくり」

20-2 「歴史ある景観の維持・形成」

20-3 「地球温暖化対策」



2

子どもの幸せプロジェクト



I はじめに

II 基本構想

III 基本計画

IV 資料編

少子化・人口減少社会に歯止めをかけ、「三芳町で子育てをしたい」と実感してもらうためにも子どもや子育て家庭が安心して生活できるよう切れ目のない支援や、住みやすい住環境整備、魅力ある教育環境、子育てと仕事の両立を図るため地域全体で応援する環境づくりに取り組みます。

また、「こども基本法」が施行され、社会全体でこども施策を推進していくことが求められています。町では、国連で採択された「子どもの権利条約」の理念をふまえ「(仮称)子どもの権利に関する条例」を策定し、その理念の実現のためにユニセフ*が推進する「日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI*)」に取り組みます。

さらに、変化の激しい社会を生きるために、誰一人取り残されず、すべての子どもの可能性を引き出し、より良い未来を築くため、夢の実現に向けて学び続ける人材を育成します。

このように、子どもの権利に関する理念の実現を町全体で取り組むとともに、町への愛着形成を図り、「三芳町らしい」教育を推進し、子どものウェルビーイングの向上を図ります。

関連する施策

3-1 「主体的に学び続ける人材の育成」

3-2 「質の高い教育環境の充実」

3-3 「誰一人取り残されない教育の推進」

3-4 「安全安心の学校教育環境と適正化」

4-1 「豊かな地域をはぐくむ、社会教育活動の推進」

4-2 「郷土学習の推進」

6-1 「子どもの権利の尊重、こどもまんなか社会の実現」

6-2 「保育環境等の充実」

6-3 「こども・子育て支援の充実」

6-4 「親と子の健康づくりの増進」

12-2 「少子化・人口減対策」

重点プロジェクト

3

誰一人取り残さない元気応援プロジェクト



町では、「いもっこ体操サポーター」や「ささえあい・みよし(生活支援体制整備推進協議体)」等、住民との協働により健康づくり・介護予防を進めてきました。

また、令和3年(2021)から開始した「第2次地域福祉計画」は、町における地域共生社会^{*}の実現をめざすための推進計画として位置づけられ、住民による自主的な課題解決の促進に向けた支援等が盛り込まれています。

今後、高齢化率が一層高まると考えられるなかで、誰もが健康で元気に暮らすための取組として、大学等と連携しながら積極的なフレイル^{*}予防を住民と創り上げます。

関連する施策

7-1 「疾病予防・重症化予防」

7-3 「活動的でいきがいのもてる生活支援」

7-2 「フレイル予防対策の推進」

8-1 「高齢者福祉」

4

行財政基盤強化プロジェクト



町は、安定した法人住民税や固定資産税の収入により財政力指数は県内でも高い水準を維持しています。これまで行政改革等を積極的に実施してきましたが、令和5年(2023)10月のふるさと納税制度改正の影響により、町への寄附金額の大幅な減少も見込まれます。

今後も、公共施設の老朽化への対応や住民の価値観の多様化・高度化等により、行政需要がさらに増すものと考えられ、より一層の財政基盤の強化、DX化等を図り、将来にわたり持続可能な町政運営をめざします。

関連する施策

1-1 「多様な主体等との連携による共創のまちづくり」

13-1 「職員の育成と組織力の強化」

13-2 「財政運営」

13-3 「行政運営」

政策の見方・指標の見方

分野別ビジョン扉

分野別ビジョン

みんなとつながる共生のまち



分野別ビジョン

「みんなとつながる共生のまち」を通して実現する幸せ

「第5次総合計画」において推進してきた多様な主体との協働によるまちづくりをさらに進め、地域の課題解決のため、地域・事業所・教育機関等と連携した共創によるまちづくりを推進します。また、2020年東京大会の経験を活かしながら、多様性や個性を認め合い、多くの住民がつながり支えあう共生社会の実現をめざします。

分野別ビジョン みよしウェルビーイング指標	現状値 [令和4年度]	前期目標値 [令和9年度]	後期目標値 [令和13年度]
三芳町に愛着を感じている割合 (住民意識調査)	67.8 %	73.0 %	79.0 %
町内における役割や貢献できる 活動的な一員だと思う割合 (住民意識調査)	49.0 (偏差値)	51.0 (偏差値)	51.4 (偏差値)

分野別ビジョンの達成を図るみよしウェルビーイング指標

- 割合(%)表示は小数点以下第2位を四捨五入して掲載
- 偏差値は、LWC指標によるもの

- 「-」 現状値がないもの
- 「↗」 数値の増加をめざす場合
- 「→」 現状維持をめざす場合

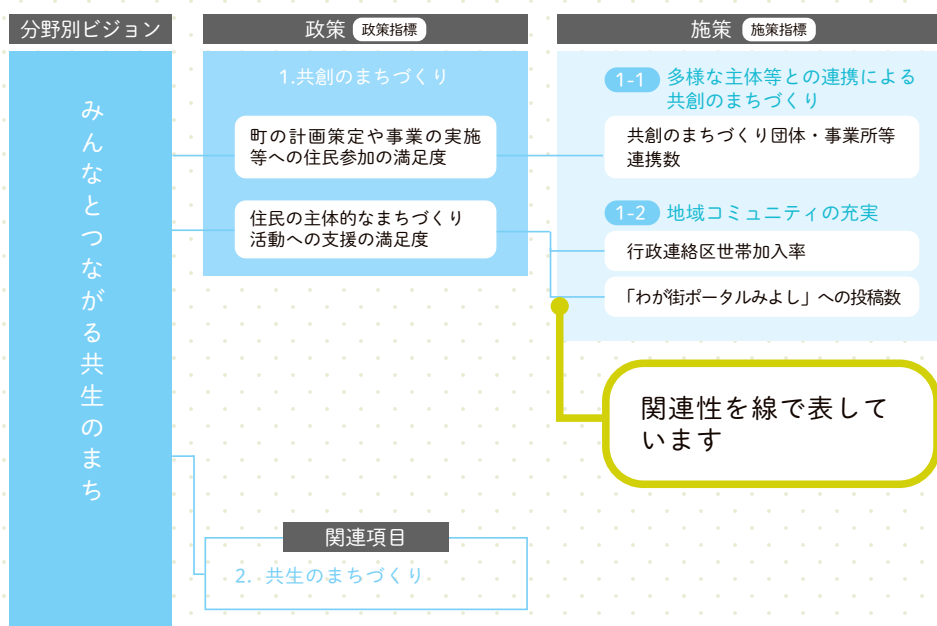
政策ページ右面

分野別ビジョンの目標を達成するためのロジックモデル*

関連するSDGs



みよしウェルビーイング実現に向けたロジックモデル



指標種別	項目	現状値 [令和4年度]	前期目標値 [令和9年度]
政策指標	町の計画策定や事業の実施等への住民参加の満足度 (住民意識調査)	14.7 %	20.0 %
	住民の主体的なまちづくり活動への支援の満足度 (住民意識調査)	13.3 %	18.0 %
施策指標	共創のまちづくり団体・事業所等連携数	-	20 団体
	行政連絡区世帯加入率	52.0 %	53.8 %
	「わが街ポータルみよし」への投稿数	41 件	900 件

● 政策指標は、施策指標を受けて、政策の目的がどの程度達成されたのかを測る指標

● 施策指標は、実施計画における事務事業の成果指標・活動指標を受けて、施策の達成度を測る指標

